平成20年度第2回 産業応用部門論文委員会主査会議議事録（案）

1．日時　平成20年6月3日（火）１３:００ － １５：００

2．場所　電気学会第３会議室

3．出席者(敬称略)

林（編修長，青山学院大学），大石(編修長補佐，長岡技術科学大学)，田中（D1副主査,山口大学），五十嵐（D1副主査，富士電機デバイステクノロジー），織田（D2副主査，松下電器産業），山崎（D3主査，千葉工業大学），松岡（D3副主査，東芝），松井（研究調査研究委員会，東京工芸大学）

4．提出資料

20-2-0 議題票（五十嵐）
20-2-1 前回議事録（案）（五十嵐）
20-2-2　共通英文論文誌特集号（D部門担当）2009年3月号D部門特集号（大石）
20-2-3　D部門誌の英文ネイティブチェックの計画について（林）
20-2-4　電気学会産業応用部門誌「回転機研究会」特集論文起案書(大石)
20-2-5　電子査読システムの運用状況（大石）
20-1-6　20-2-6　論文委員候補者推薦用紙 (山崎)

5．議事

5.1 前回議事録の確認　（資料20-1-1）

- 予めメールで配信済み議事録について承認された。
- 次々年度　論文委員長がメーカ委員になることの審議，
  次々年度の部門大会の会場がどこになるかを見極めてから，田中先生と五十嵐で　協議して誰が担当するか決定し，次回主査会で回答する。

5.2　Extended Summary と Abstractのネイティブチェックについて（資料20-2-3）

- 論文委員会で同意得られれば実施すこととなった。
- カスタスジャパンで施行して，問題ないことを確認した。
- さらに施行を実施したいため，査読していただきたい論文を論文委員会で選定し事務局（中村さん）に連絡する。
- 本件を部門大会などで著者にパンフレットに配布するなどでアナウンスする。

5.3　電子査読システム運用状況について（資料20-2-5）

- 資料に基づき，大石編修長補佐より説明があった。受付論文数は，20年度1月-5月でD1:38件，D2:30件，D3：13件である。
- 英文論文誌は，D1:1件，D2：4件，D3：5件である。

5.4　編修会議報告

林編修長より，編修会報告がされた。主な報告内容は以下である。

- 英語翻訳論文誌が，YB社に加え，Electronics Information and Communication誌が追加

された。
英文誌には写真と紹介欄は　掲載を義務つけない。
・　電子投稿査読システムへの要求が頻繁にあり，1〜2年待ってまとめてから変更を実施したい。
・　共通英文論文誌　2010年から3月号E部門，5月号をD部門に入れ換える。
・　共通英文論文誌は　C判定がないため注意すること。例えば，A,D判定時はエディタ判断で，掲載するか返却するか決める。

5.5　特集号の考え方　(資料20-2-4)
資料に基づき，大石編修長補佐より説明がった。
・「回転機研究会」　特集号を企画する。
過去に回転機研究会で発表した論文に限定しようとの案があったが，今回限定をはずして募集することとなった。
・至急　募集記事を至急訂正し，編修広報委員会に至急連絡し掲載する。
スケジュールは，査読期間が短くなったため，当初計画より1ヶ月前倒しする。
予告記事締切　2009年8月1日⇒7月1日
予告記事掲載　2009年11月⇒2009年10月号（ニュースレター）
論文掲載が　2009年12月号⇒2009年11月号

5.6　共通英文論文特集号　(資料20-2-2)
資料に基づき，大石編修長補佐より説明がった。
著者は，11名を割り当てた。日程は9/1：投稿，11/20：掲載決定，12/10：最終論文提出である。

5.7　論文委員の推薦
資料20-2-6にもとづき　大穀さん，安部さん，中村さん，中野さんの4名の推薦がり承認された。

6．次回開催予定
次回は以下の日程で開催することを予定する。
日時：8月29日（金）１３：３０〜１５：００
場所：産業応用部門大会（高知）
会場は　後日連絡します。

以上